

2026年4月10日

報道関係各位

JR西日本不動産開発株式会社
 福知山公立大学

ビエラ福知山のリニューアルについて

～立ち寄り、過ごし、つながりを育む駅のフリースペースが誕生～

JR西日本不動産開発株式会社(本社:大阪市北区中之島二丁目2番7号 代表取締役社長:藤原嘉人)が展開する駅商業施設「ビエラ福知山」では、これまで十分な活用に至っていなかった区画について、新たなコンセプトのもとリニューアルを実施し、2026年4月18日(土)にリニューアルオープンいたします。

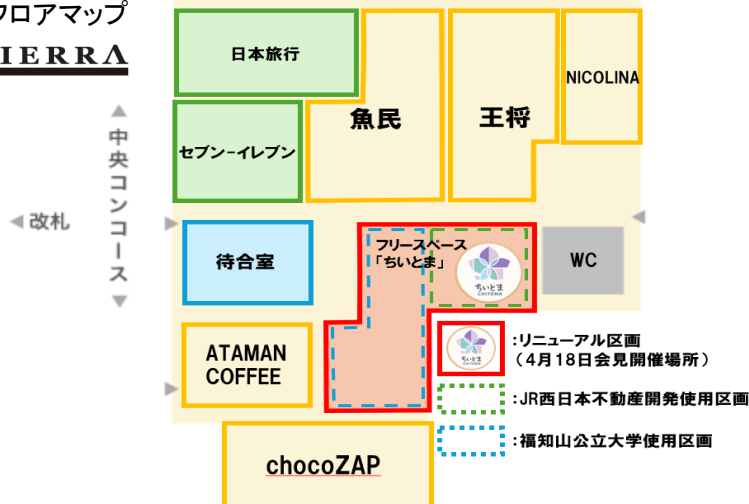
本区画は、ビエラ福知山を拠点として、地域の発展にも寄与する取り組みを展開するフリースペース「ちいとま」として、施設の新たな価値創出を目指します。

リニューアルオープン当日の4月18日には、JR西日本不動産開発株式会社と福知山公立大学による共同記者会見を実施し、プロジェクトの概要発表を行います。

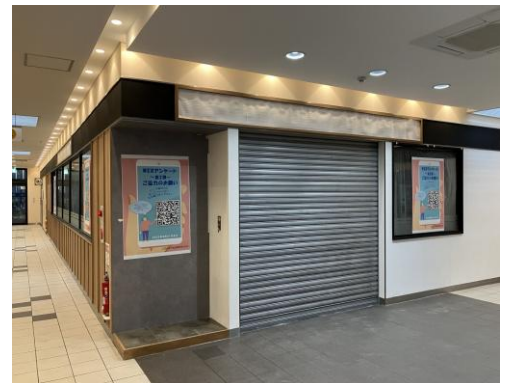
本リニューアルでは、AR(拡張現実)技術を活用した「AR ウォール(市街地体験施策)」の展開に加え、福知山公立大学と連携した「えきなかキャンパス」としての活用を進めてまいります。

なお、「えきなかキャンパス」としての本格的な取り組みは、2026年5月初旬(予定)より順次開始する予定です。本区画は、JR西日本不動産開発株式会社および福知山公立大学が企画主体となり運営するフリースペースであり、学生・地域住民・来訪者など、さまざまな方の利用を想定した多様な活用が可能な共用空間として位置付けています。今後もビエラ福知山は、地域の皆さまがまちの魅力を再発見し、楽しみながら体験できる施設づくりを通じて、地域活性化に貢献してまいります。

■フロアマップ **VIERRA**



■リニューアル前



■リニューアル後



【共同記者会見 概要】	
項目	内容
名称	ビエラ福知山 リニューアルオープン記念 共同記者会見
開催日	2026年4月18日(土) 午前11時開始予定 ※午前10時45分受付開始
開催場所	ビエラ福知山(対象区画)
主催	JR西日本不動産開発株式会社/福知山公立大学
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ビエラ福知山リニューアルおよびプロジェクト概要説明 ・ARウォール(市街地体験施策) 除幕式 ・福知山公立大学によるブース展示
備考	※「えきなかキャンパス」としての本格的な取り組みは、2026年5月初旬(予定)

【フリースペース「ちいとま」について】

フリースペースの名称「ちいとま」は、丹波地域で使用される方言で、「少しの間」を意味します。「ちいとま、ここおんないね(少しの間、ここでゆっくりして行ってね)」といった表現に用いられ、相手への思いやりや、あたたかく迎え入れる気持ちを表す言葉です。

本名称は、本プロジェクトが目指す、駅を単なる通過点ではなく、人が立ち寄り、過ごし、地域や人とのつながりを育む場へと転換していく考え方を象徴するものとして採用しました。

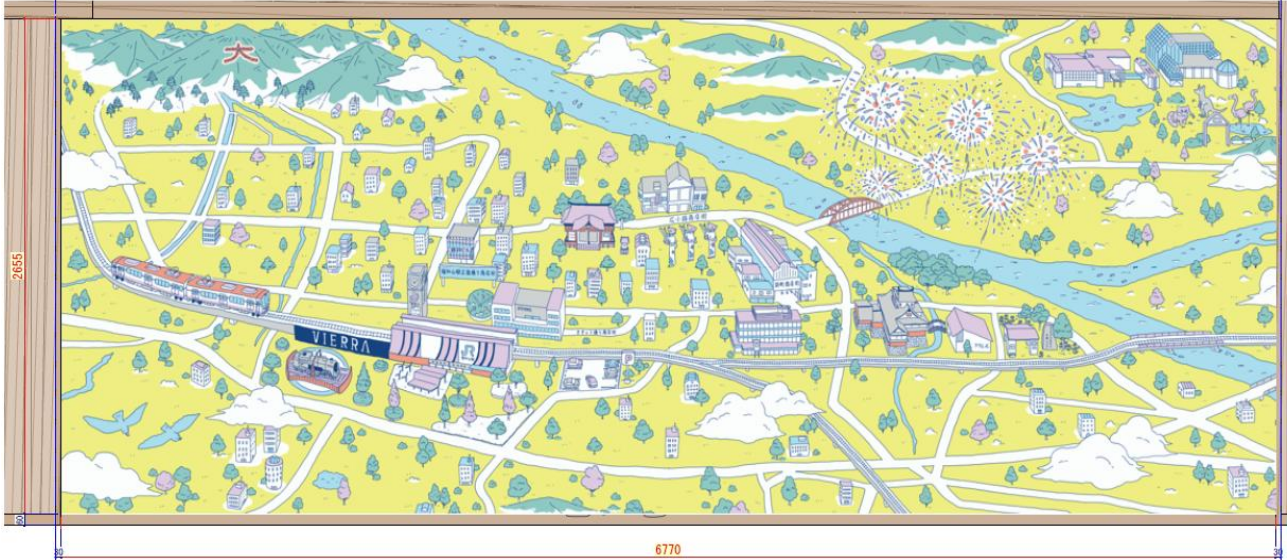
本空間を通じて、訪れる方が思い思いの時間を過ごしながらか、地域の魅力や人のあたたかさに自然と触れ、誰もが気軽に立ち寄れる開かれた共用空間として、駅に新たなにぎわいや交流を生み出していくことを目指します。



※ロゴ画像はAIにて生成しています

【JR 西日本不動産開発 使用区画】

■AR ウォール(市街地体験施策)



●操作手順

※画面は開発中のものです



ウォールの前のパネルより
ARサイトにアクセスします



福知山について知りたいカテゴリを選択し、ウォールにカメラをかざすと
ARをお楽しみいただけます

AR ウォール(市街地体験施策)は、地域の魅力をデジタルで発信する実証実験として、2026年4月18日から10月16日まで実施する体験型コンテンツです。駅利用者が気軽にまちの情報や観光資源に触れられる場を創出し、待ち時間を“地域と出会う時間”へと変えることで、駅からまちなかへの回遊促進や福知山への関心喚起を図ります。

【福知山公立大学 使用区画】

■開学 10 周年を迎える
「福公大」

福知山公立大学は 2026 年に開学 10 周年を迎えます。これまで地域とともに歩んできた軌跡を振り返るとともに、反響の大きかったイベントや展示のリバイバル企画を実施する予定です。



「大阪・関西万博」福知山市ブースで展示した、本学開発の体験型コンテンツを体験▲

■「えきなかキャンパス」
に注目の学生発事業が集結

福知山公立大学の学生による多彩な取り組みが一堂に集結。週替わりでさまざまなイベントを展開し、トレンドと地域創生が融合した挑戦をご紹介します計画です。



新町商店街「Tsunaga Room」出張版。全国のクリエイターが集う「ハコカラ」の一部をご覧いただけます▲



B 型就労支援施設と食品ロス削減の取り組みから生まれた「オリーブフィナンシェ」の試食を実施▲



さらに、学生団体「Drip link」によるオリジナルブレンドコーヒーの試飲会や、AI サークル「FGR」主催の「IT お困り相談室」出張版など、多彩な企画を鋭意準備中です。

【施設概要】

物件所在地	京都府福知山駅前町 439 番地
物件名称	ビエラ福知山
延床面積	約 145 m ²
リニューアルオープン日	2026 年 4 月 18 日(土)
主な機能	【JR 西日本不動産開発 使用区画】 AR ウォール(市街地体験施策)を起点とする実証実験を実施し、実証期間終了後も多様な施策を段階的に展開することで、駅を地域の交流・情報発信の拠点として機能させる空間を形成する。 【福知山公立大学 使用区画】 えきなかキャンパスとして、公開ゼミや学生団体主導によるイベント等を展開し、販売の創出と地域との交流促進を担う。

<本プレスに関するお問い合わせ先>

JR西日本不動産開発株式会社 経営戦略本部 広報担当

電話:06-7167-5622 MAIL:press@jrwd.co.jp

<位置図> JR 福知山駅構内の商業施設「ビエラ福知山」



JR 西日本不動産開発 高架下事業の取り組みについて

<https://www.jrwd.co.jp/business/underpass.html>

JR 西日本不動産開発 つながりの場づくり「Make PLACE」

https://www.jrwd.co.jp/about/vision.html#TO2_2

JR 西日本不動産開発 サステナビリティへの取り組み

<https://www.jrwd.co.jp/sustainability/>

以上